



10月22日
~24日

総務常任委員会で行政視察

福岡県・筑前町、大川市、佐賀県・小城市、唐津市を視察

唐津市

未来づくり研究会

若い職員の政策能力を高め、庁内横断的な自由に意見が言える組織風土を醸成しようとする研究会が発足。これまで、唐津で一万人ロックフェスや産まれる前から産んだ後までの寄り添いを大事に、赤ちゃんギフトで応援するなど、市の賑わいや市民の役に立つ施策を立案している。この世で一番自由なのは公務員だと、自信をもって働く職員が増えることが職員の成長と市の発展につながる。事務局が述べていたのが印象に残る。

筑前町

太刀洗平和記念館

戦前、陸軍が東洋一を誇ったといわれる太刀洗飛行場が大正8年から昭和20年まであった。戦争が激しくなると陸軍の特攻の中継基地として使われた歴史をもつ。2009年の開館で15周年を迎える。町の直営で運営され、震災の実物大模型などが展示されている。小中学生から高校生まで全国各地から見学に来て、戦争のこと、平和のことを考えてもらう平和発信の施設、教育普及活動に取り組んでいる。

小城市

庁舎防災強靱化

災害時に防災活動の拠点となる市役所庁舎に太陽光パネルと蓄電池を導入して、災害時でも、停電時でも、24時間365日、庁舎の電力を賄い防災体制が維持できるようにした自治体では全国初のシステムで、小城市が先駆的な事例となっている。市役所駐車場に1200枚の太陽光パネルを設置し、商用電力が不要となり、電気料金が約100万円削減でき、CO2排出量を従来の93%削減できた。

大川市

DX加速化事業

大川市は合同会社DMMとデジタルトランスフォーメーション加速化事業を開始、デジタルを活用した市民の利便性向上と職員の業務効率化を図ることを目的に、自治体LINE公式アカウントを導入、住民票や戸籍、印鑑登録や所得証明書の交付から給付金の受け取りなど、十一の行政手続きに対応、閉庁時間でも申請でき、子育て応援給付金は93%の市民がLINEからの申請となった。



太刀洗平和記念館前で総務常任委員会の委員



太刀洗平和記念館



1200枚の太陽光パネルの小城市役所

いつでも、すぐに、かんたんに。「デジタル大川市役所」、はじまります。(大川市 DX推進事業)

<p>【デジタル化】 オンライン行政手続き 来庁不要、待ち時間なし。スマホ一つで簡単に。随時サービス提供予定。</p>	<p>【デジタルトランスフォーメーション】 早くて便利な市役所窓口 行かない・費やらない。本来の市役所窓口の実現。</p>
<p>【デジタル化】 24時間365日オンライン案内 いざという情報がすぐに手に入る。随時サービス提供予定。</p>	<p>【デジタル連携・活用】 安全で快適なまちづくり ITデータを活用しまちづくりを暮らしやすい街へアップデート！</p>

大川市のDX加速化事業